

謹賀新年



兵庫工業会
NEWS

2022年1月1日

発行 / 公益社団法人 兵庫工業会

No.302



2022年の新年を迎えて



新年あけましておめでとうございます。

本年もよろしくお願いいたします。

昨年を振り返りますと、本当に話題に事欠かなかった1年であったと思います。政治の世界では日米両国で新しい政権が発足しました。スポーツの世界では東京オリンピック・パラリンピックの開催、松山英樹選手のマスターズ優勝、大谷翔平選手のMVP受賞など、明るい話題が続きました。しかしながらなんとといっても、新型コロナウイルス感染症が一昨年に引き続き人びとの暮らしや企業活動に暗く大きな影を落とした一年でした。ワクチン接種の広がりや3密回避などの基本的な予防対策の継続により、第5波といわれるピークは脱しましたが、新たな変異株の出現など、まだまだ気の抜けない日常が継続しています。

兵庫工業会も新型コロナの影響を受け続け、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発令されるなか、多くの行事の中止や延期を余儀なくされました。しかしながら一方で「中止にしてしまうのは簡単だが、それでは何も残らない。やれる方法を皆で考えよう。」との声も大変多く頂き、従来とは違った形や方法でありながらも可能な限りの活動を実施して参りました。このようなことができましたのも各委員会をはじめとする関係各位のご協力・ご尽力のおかげです。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

足元のものづくり事業を取り巻く環境に目を移しますと、21年度上半期では製造業の活動水準が比較的堅調に推移し、企業業績も大手を中心に回復傾向にあります。しかしながら一方で出口の見えないコロナ禍に加えて、原材料費、エネルギー費の高騰や、半導体不足に代表されるサプライチェーン不安定化

による生産制約、人材不足などの課題により、先行きの不透明感が増しています。我われはこのような時期であればこそ、目先の出来事に惑わされることなく、ものづくりの基本であるQCD（品質・コスト・デリバリー）の改善、明日を担う人材の育成、新しい商品や技術の開発などを堅実に一歩ずつ進めることが肝要ではないか、と考えます。

さて本年はどのような年になるのでしょうか？干支は壬寅（みずのえ・とら）で「厳しい冬が終わって新しいことが華々しく生まれる」という意味があるそうです。その意味どおりにコロナ禍が早々に終結して、希望に満ちた明るい年になることを心から願っています。

兵庫工業会も会員企業の皆さまに喜んで頂けるよう、しっかりと活動を進めて参ります。

広い県下各地域特有の課題や生の声を聞く機会として一昨年から再開した「地域交流会」、産学連携を強化したものづくり企業での女性活躍事業、デジタル技術導入へ向けた支援事業などに注力いたします。もちろん、人材育成や会員交流をはじめとする各事業は、万全のコロナ対策を取りながら、従来以上に充実した内容を提供できるよう努めて参ります。

そして会員各位が「自社の経営力強化に役立っている」、「本当に入会してよかった」、と感じていただける兵庫工業会を目指して前進いたします。どうか引き続きましてのご支援、ご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、本年が会員各位やご家族の皆さまにとりまして、幸多き一年となりますことを心からお祈りいたしております。

公益社団法人 兵庫工業会

会長 宮 脇 新 也

新年のご挨拶

副会長 村元 四郎

(グローバル化推進委員会 委員長)



新年あけましておめでとうございます。

2021年、1年遅れのオリンピック開催はできたものの、緊急事態宣言下の渡航制限・行動制限・無観客開催と、コロナウイルスに翻弄された世界情勢でした。

生産活動においては、世界的な半導体不足の対応として、政府による半導体製造国内回帰促進・外資半導体企業誘致などの施策が取りざたされていますが、生産遅延が商機喪失を生まないか懸念されます。

加えて在宅勤務・リモート会議による利便性向上とは裏腹に、現在も続く営業活動の制限・新規案件の絶対数減少など、先の見通しも立たない状況と思われま

す。グローバル化推進委員会で実施させていただいた、面識のある方々との国際的な情報交換(リモート会議)については非常に有意義でしたが、これも初対面の方との実施となると、いかがなものかと考えさせられてしま

います。会員企業各位におかれましては、このような時期で様々なご苦勞はあろうかと存じますが、兵庫工業会各事業へのご関心を頂戴し、できる限りのご参加をお願い申し上げます。

最後にこの一年の皆様のご健勝を祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

副会長 金井 宏彰

(産業・技術振興委員会 委員長)



新年あけましておめでとうございます。

個人・家族・企業・日本・世界全てがコロナウイルスに振り回され、今までとは異なる生活様式・行動様式・経済活動に何が正しい答えかがわからず右往左往模索を続けました。多くのものを失い、多くのことを考え、見直し、多くのものを発見した2年でもありました。その中で、何を变えなければいけないのか、何を变えてはいけないのか、次のアフターコロナに向けた最適化を構築していかなければなりません。

工業会の活動も全く機能不全になりましたが、次代への多くのヒントも得られました。

30年間停滞した日本経済を再生するために多様性・柔軟性を認め多くのイノベーションを育て、人口減少や生産性向上など日本が抱える潜在的課題、DXや脱炭素など社会が抱えるSDGs課題解決などに対して工業会も積極的に取り組んでいかなければなりません。

本年こそ新常态化の中、会員企業の皆様にお役に立てるよう活動してまいります。

副会長 竹田 佑一

(人材育成委員会 委員長)



新年あけましておめでとうございます。昨年は新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、会員企業の皆様におかれましては、多くの企業で影響をお受けになったことと存じます。

人材育成委員会としても密を避けるということで、多くの事業が実施出来ませんでした。今は、特にデジタル化が推奨されています。我々としては、ものづくりを実践する中で、リアルな現場を大切にしながら、デジタルの要素を加え、進化させていくことが必要になって来ております。

with コロナの時代がまだまだ続くと考えられますが、企業にとって、やるべきことはコロナの前も後も変わっていないはずですが、新しい生活様式を始め、世の中の環境は間違いなく変わることが想定されます。企業も自社の立ち位置を冷静に判断し、ポストコロナ社会と共存する必要がありますと思われる。IT人材の採用、適材適所への再配置による新商品、新事業の創出と大きな意味で、構造改革を推し進める必要があるでしょう。

人材育成委員会としても、少しでも皆様のお役に立てるよう努力していく所存です。

今年も宜しくお願い致します。

副会長 神門 登

(会員交流委員会 委員長)



新年明けましておめでとうございます。

新型コロナウイルス感染症パンデミックの発生により、日本を含む世界経済は大きく変化しました。しかし各種の経済予測では2022年度中はコロナ禍の影響は残るものの、その後アフターコロナ期に移り経済活動は正常化するとあります。2022年はコロナ禍で得られた教訓を、企業や経営者が如何に活用するかが課題となります。また従来から指摘されているように日本企業の生産性は世界の先進国と依然大きく引き離されています。

このような状況を踏まえ、地域経済を牽引する中堅・中小企業にとって経営力強化は必須です。デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進、人手不足による生産制約、研究開発投資の増加、働き方改革への取り組み等多くの課題がありますが、それぞれの企業で取り組むべき課題および優先度はかなり明確になってきたのではないのでしょうか。

これは「チャンス」です。変革にはスピードが大切です。企業経営者のオーナーシップを発揮するときです。兵庫県は産業競争力の強化、産業人材の育成、ものづくり企業のDX推進など企業への支援に積極的です。兵庫工業会の県下の企業、行政、他府県の企業との幅広いネットワークと、諸事業を上手に活用し、ピンチを「チャンス」に変えましょう。会員交流委員会では会員の皆様と交流できる様々な機会を設け、経営力強化に資するよう魅力ある事業展開を図る所存です。

最後に本年も引き続き会員皆様方のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

躍動する兵庫、 コロナを乗り越え未来へ



新年あけましておめでとうございます。

昨年も新型コロナが私たちの暮らしに大きな影響を及ぼしましたが、県民・事業者・医療関係者の皆様のご協力により、第5波を乗り越えることができました。

しかし、感染再拡大のリスクは続きます。マスク着用、手洗い、「密」の回避など基本的な感染対策の徹底を引き続きお願いします。県としても、保健所や医療提供体制の強化、3回目のワクチン接種の推進など、対策に万全を期します。

同時に、「ワクチン・検査パッケージ」等も活用しながら、飲食、旅行、イベントなど、社会経済活動との両立も図っていきます。

さらに、今年にはポストコロナ時代を見据えた取組を本格的に検討・推進する年とします。

その1つは、時代の潮流であるデジタル化やグリーン化の加速。デジタル技術を、働き方、教育、医療・介護、地場産業や農業など様々な分野で取り入れるとともに、再生可能エネルギーの導入拡大や水素の利活用などの地球温暖化対策に力を入れます。

また、少子高齢・人口減少社会への対応や、頻発化・激甚化する自然災害への備え、交流と日常生活を支える道路ネットワークの整備など、すべての県民の皆様が安心して、育ち、働き、暮らし続けられる、だれも取り残さない兵庫づくりを進めます。

大きなポテンシャルを持つベイエリアの活性化にも本腰を入れます。2025年大阪・関西万博は、兵庫に人・モノ・投資を呼び込む大きなチャンスです。更なる発展の起爆剤とすべく、ベイエリアプロジェクトの起動、万博の来場者を県内各地へ誘うフィールドパビリオンの具体化など、新たなチャレンジをしていきます。

もとより、こうした取組は行政だけでできるものではありません。民間との連携をこれまで以上に広げていきます。また、私自身が県内各地で地域の皆様と対話を重ね、地域の課題やニーズを新たな施策に繋げていく県民ボトムアップ型県政を推進します。

「躍動する兵庫」の実現に向け、飛躍の一年としていく決意です。

皆様のご理解、ご支援をお願いします。

兵庫県知事

齋藤元彦

新年に寄せて



新しい年を迎えるにあたり謹んでご挨拶を申し上げます。

昨年秋の市長選挙におきまして、市民のみなさまからご信任を賜り、3期目の市政を担わせていただくこととなりました。私に課せられた責任の重さを常に胸に抱きながら、市民のみなさまからの期待にお応えできるよう、全力を尽くしていく所存です。

兵庫工業会におかれましては、地域の産業を支え、雇用の受け皿として重要な役割を果たしておられますことに、深く敬意を表します。これからも兵庫工業会の皆様と力をあわせ、地域経済の発展を目指してまいりたいと存じますので、引き続きお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

新型コロナウイルス感染症については、医療従事者のみなさまをはじめ、多くの事業者や市民のみなさまのご協力をいただき、この未曾有の危機に対処してきました。今後の感染再拡大に備えるために、医療提供体制とPCR検査体制の確保に努め、3回目のワクチン接種を安全かつ迅速に進めるとともに、コロナ禍で大きな影響を受けた市民や事業者に対するきめ細かな支援を展開するなど、引き続き、市民の命と健康を守り、神戸経済を回復させることに全力で取り組みます。

神戸のまちづくりについても、ウイルスの出現前からの課題である超高齢社会、東京一極集中はもちろん、とりわけ人口減少への対応に、強い決意と覚悟をもって取り組みます。都心・ウォーターフロントの再整備を着実に進め、拠点駅のリノベーションを行うことによって、バランスのとれたまちづくりを進めていきます。同時に、神戸が持つ豊かな自然環境を活かし、六甲山上スマートシティ構想や里山の保全・活用を進め、若い世代が集い、住まい、働き、多様な活動が展開されるまちをめざします。また、子育てや教育、孤独・孤立など各種施策の充実を図るとともに、世代を超えて市民がお互いに助け合う、人にやさしい地域社会の構築にも努めます。

神戸は、戦災や災害、阪神・淡路大震災など、幾多の困難を市民の力で乗り越えてきたまちです。これからも国内外に貢献し、市民が誇りをもつ神戸であり続けるために、『海と山が育むグローバル貢献都市』の実現に向けて取り組んでいきます。

みなさまには引き続き、神戸市政に対し、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

末筆ではありますが、本年がみなさまにとって、素晴らしい一年となりますことをお祈りいたします。

神戸市長 久元喜造

謹 賀 新 年

会 副	長 会 長	宮 村	脇 元	新 四	也 郎	理 事	清 眞	水 下	泰 直	人 忠
〃	〃	金 井	元 井	四 宏	郎 彰	〃	井 上	下 上	直 正	也 貢
〃	〃	竹 田	田 門	佑 一	一 登	〃	西 野	野 所	利 和	行 史
〃	〃	神 宮	本 木	俊 浩	要 光	〃	番 石	田 川	啓 輝	之 輝
専 務 理 事	専 務 理 事	荒 安	原 達	智 文	一 章	〃	中 近	藤 藤	英 松	男 平
〃	〃	牛 森	田 千	伸 二	藏 二	〃	齋 瀧	川 田	圭 勝	祐 敏
〃	〃	阿 比	野 上	美 智	代 一	〃	山 上	村 川	裕 隆	子 隆
〃	〃	井 大	庫 東	良 琢	一 琢	〃	中 安	藤 嶋	光 義	博 富
〃	〃	大 島	島 村	孝 康	郎 夫	〃	伴 豊	嶋 宅	智 里	章 志
〃	〃	大 苗	村 田	武 修	保 和	〃	三 瀬	川 田	和 康	勲 哉
〃	〃	岡 吉	田 山	勝 勝	彦 伸	〃	太 阿	倉 内	貴 寿	典 民
〃	〃	陰 高	橋 川	悦 憲	子 一	〃	宮 上	村 矢	公 邦	雄 洋
〃	〃	高 細	元 西	雅 真	樹 一	〃	降 友	藤 田	哲 稔	也 稔
〃	〃	久 中	西 安	真 要	郎 重	〃	市 河	上 水	圭 信	悟 二
〃	〃	頃 畠	田 谷	安 重	郎 司	〃	清 高	石 本	千 久	磨 一郎
〃	〃	小 上	月 山	泰 淳	司 子	〃	倉 三	津 脇	隆 健	城 和
〃	〃	楠 小	池 村	俊 和	子 広	〃	宮 下	土 井	博 純	孝 子
〃	〃	下 久	保 田	直 慶	樹 大	〃	山 福	本 田	純 洋	二 郎
〃	〃	黒 平	松 野			〃	藤 吉	嶋 田		
〃	〃	小 野				〃				

監 事

第39回管理監督者研修 ご報告

コロナウイルス感染拡大による兵庫県下への緊急事態宣言発令により、9月から延期となっておりました「第39回管理監督者研修」を12月3日(金)～4日(土)に開催いたしました。

今年は会場を姫路の「ホテルサンシャイン青山」に変更しての実施でしたが、管理職クラス10名、係長クラス9名にご参加いただき、2日間のカリキュラムを無事に受講いただくことができました。

研修においては自己分析の後、演習で「グループの強み・弱み」を分析後、対策を講じるというグループワークなど、受講生全員真剣に取り組まれておられました。

1日目夕方の情報交換会では、参加者各自の職場での出来事などを中心に話に花が咲きましたが、特に東南アジア出身の方々との職場におけるコミュニケーションの難しさ、人間関係の円滑化に向けた個々の工夫などについて話し合いされていたことが印象的でした。

来年度は2022年9月9日(金)～10日(土) 加古川プラザホテルで実施予定です。皆様のご受講をお待ち申し上げます。



リーダー・係長クラス講義風景



グループワークの様子

「年末特別講演会(テクノフォーラム)」ご報告

12月8日(水)午後、年末特別講演会(テクノフォーラム)を神戸ポートピアホテルにて開催いたしました。

本講演は、新型コロナウイルス感染拡大により開催できなかった会員交流懇親会(忘年パーティー)の開催日に、同じ開催場所にて、テクノフォーラム講演会として開催したものです。

なお、テクノフォーラム講演とは、例年、8月に開催している夏のビッグイベントにて催す基調講演のことであり、今年も昨年同様、コロナ禍のため開催できませんでした。

当日は約130名の方に参加いただき、講演前には名刺交換会を、講演後には新会員紹介を行い、久々に会員同士の交流を深めることができました。

ご案内から開催までの期間が極めて短かったにもかかわらずご出席いただきました皆様に、厚くお礼申し上げます

<講演概要>

- ・ 題目:「国土強靱化論～日本を強くしなやかに～」
- ・ 講師: 京都大学大学院工学研究科 教授
レジリエンス実践ユニット長 藤井 聡 氏
- ・ 内容:

冒頭、神戸や兵庫に関わる思い出をしみりと話し出されました。その後、神戸・兵庫に大きな被害をもたらした阪神淡路大震災の被害額が約40兆円にものぼり、2015年によく他地域並みに経済成長ができるようになったことが紹介されました。更に、阪神淡路大震災の被害額に基づき算出した南海トラフ地震での被害額が1400兆円を上回ることを示されました。すなわち、南海トラフ地震のような大災害が起これば、神戸・兵庫は、また、大ダメージを受け、元に戻るまでに極めて長い期間がかかると強く警告を寄せられました。講師が主張する国土強靱化論とは、それへの対策を示したものであると強調されました。特に、東日本大震災の傷跡がなかなか治らず、首都直下型地震などの様々な災害や困難が日本各地に迫りくる中、復興増税や消費税増税をしていて良いのか。内閣官房参与(当時)として、税に関わる財務省や政治家の方々との生々しいやり取りを織り交ぜながら、終盤はヒートアップした講演となりました。今回の講演が、企業経営の一つのヒントとなればと願っております。



藤井 聡氏



交流会の様子

兵庫工業会北播磨・丹波地域交流会開催について

兵庫工業会は、地域の要望を踏まえたきめ細かい事業運営を行うために、2017～2018年度に兵庫県下を8つに分け、地区ごとに会員の皆様にお集まりいただいて「地区別会員情報交換会」を開催し、ご意見を聞きしてきました。2020年11月に淡路地域交流会を開催して以降、コロナ禍でなかなか実施が難しく、今回久しぶりに北播磨・丹波地域合同での地域交流会を実施することができました。以下開催内容を記すと共に、今後開催予定の但馬地域交流会について記します。

1. 北播磨・丹波地域交流会

(1)開催日 2021年12月16日(木)

(2)開催場所

企業見学会：伊東電機(株)

意見交換会：いこいの村はりま

(3)参加者

- ・北播磨地域会員企業 12名
 - ・丹波地域会員企業 2名
 - ・その他地域会員企業 1名
 - ・会員交流委員会企業 4名
 - ・行政 兵庫県2名、北播磨県民局3名
 - ・マスコミ 1名
 - ・兵庫工業会 宮協会長・神門副会長 他
- 事務局を含め計32名の方々にご参加いただきました。



北播磨・丹波地域交流会における意見交換会の様子

(4)意見交換会

今回も、コロナ禍のために十分な感染対策を行い、会場の入り口での検温、消毒、ソーシャルディスタンスを保った座席を準備し、マスクを着用して、発言毎にマイクの消毒を行いながら意見交換会を行いました。会員交流委員会の中川委員（第一熱研(株)）の司会のもと、以下のことが話題になりました。

- ・人手不足が一番の問題。注文はあるが人手不足で対応ができない。北播磨は道路が限られており、鉄道等の公共交通機関も少ないため、人の採用においても通勤等の問題あり。
- ・兵庫県では工業用地の緑地面積は25%確保という規定がある。北播磨では車通勤が多いため工場内並びに近辺での駐車場の確保が問題になっている。
- ・県外転入者を増やすためUターン、Iターン人材を取った時の家賃補助等、兵庫県で企業向け就職支援策をもっと検討してほしい。
- ・以前は現場の組立等にベトナム人を雇っていたが、最近ではミャンマー人を採用している。技術者についても日本人の雇用が難しいため、ミャンマー人を採用したが、現在はコロナの問題で入国待機中となっている。
- ・兵庫工業会をうまく利用していけば、いろいろな情報が得られるので、皆さん活用してください。



見学先の伊東電機(株)様における集合写真
(ドローン撮影)



北播磨・丹波地域交流会
伊東社長様によるご挨拶
(4名1テーブルによるノンアルコール食卓)

2. 但馬地域交流会（予定）

①開催日 2022年3月10日(木)

②開催場所

企業見学会：美岡工業(株)

意見交換会：湯村温泉 井づつや

年明けにはご案内いたします。

皆様のご参加をお待ち申し上げます。

令和3年度職域における創意工夫者表彰 表彰式

現場の改善活動などに貢献された方々を顕彰する「職域における創意工夫者表彰式」を12月23日(木)、兵庫県公館にて開催し、兵庫県知事賞80名、兵庫工業会会長賞90名の方々が受賞されました。

コロナウイルス感染対策を万全とし、列席者の皆様にも全員マスク着用いただくなどご協力を賜り、無事開催することができました。

厳かな雰囲気の中、それぞれ代表の方に兵庫県産業労働部 竹村部長と兵庫工業会 宮協会長より賞状と記念品が手渡されました。受賞者の皆様、おめでとうございます。



代表受賞者への兵庫県知事賞授与



宮協会長挨拶

第17回 兵庫工業会 ゴルフ大会2021



女子プロとのラウンド



表彰式の様子 (4人/1テーブル)



男子プロによるレッスン

2020年度は新型コロナウイルスのため中止、2021年度も5月、8月とコロナのため2度延期になっていた第17回兵庫工業会ゴルフ大会を11月23日(火)、美奈木ゴルフ倶楽部にて開催いたしました。今回は12組36名の方に参加いただきました。

前日は大雨で天候が心配されていましたが、当日は朝から晴天の絶好のゴルフ日和の中、今年はハーフの9ホールを女子プロとラウンドしていただくこととし、皆様、楽しくすごしていただけたようでした。表彰式はノンアルコールでコロナウイルス感染対策を取って開催いたしました。

ダブルペリア方式による優勝者他は以下の通りです。

☆優 勝☆ 松尾 明彦氏 (広瀬化学薬品(株) マーケティング部部长)

☆準 優 勝☆ 小林 俊夫氏 (シマブンコーポレーション(株))

☆第 3 位☆ 宮田 祐治氏 ((株)チューガイ 代表取締役社長)

☆B B 賞☆ 高橋 勝彦氏 (カルモ精工(株) 常任顧問)

☆ベストグロ賞☆ 松尾 明彦氏 (広瀬化学薬品(株) マーケティング部部长) Gross 81

来年度もゴルフ大会を開催いたしますので、ご参加よろしくお申し込み申し上げます。

追加募集『DX人材育成リカレント教育研修』

～受講料の半額を支援します[兵庫県補助事業]～

DX（デジタルトランスフォーメーション）は企業にとって存亡をかけた喫緊の課題です。DXを推進するためには、まずIT（情報技術）、DS（データサイエンス）、AI（人工知能）の基礎知識が必要です。この研修では、関西学院大学と日本IBM株式会社が開発し、今春、リリースされた「AI活用人材育成プログラム」を活用し、初めてこの分野を学ぶ人や、数学が苦手な文系の方々でもDXの基盤を体系的に学んでいただけるように設計されています。

また、このプログラムはオンラインで講師による解説動画と復習テストにより、いつでも・どこでも・何度でも学べ、優れた学習効果と高い満足度を得ることができます。

この機会にぜひDXへの第一歩を踏み出しましょう！

◆「AI活用人材育成プログラム」は下記の3コース◆

「AI活用入門」

AI活用に関わる技術、事例、ツール等を幅広く学び、基礎的知識・スキルをビジネスシーンで活用できるようになることを目指します。まずは、このコースの受講をお勧めします【14テーマ／約20時間】

「AI活用アプリケーションデザイン入門」

AIの各機能（言語、画像、音声等）の概要、使い方、事例を中心に学び、それらを実際の現場で活用できるようになることを目指します。【14テーマ／約20時間】

「AI活用データサイエンス入門」

データサイエンスに関わる技術、事例、知識等を中心に学び、特に、統計ソフト「R」（統計解析向けのプログラミング言語）を中心に実際の現場で活用できるようになることを目指します。【14テーマ／約20時間】

【スケジュール】 2月21日(月) 開講／2月14日(月) 締切

【受講料】 1コースお1人様 22,000円（税込）※

※2021年度に「DX人材育成リカレント教育研修」を受講される中小企業の皆様には受講料の半額を補助いたします。この場合、お一人様あたり1コース11,000円（税込）で受講いただけます。（補助対象500コース）

ただし、2022年3月10日(木)までに1回以上講義を受講のうえ、アンケートを提出していただく必要があります。

【問合せ先】

公益社団法人 兵庫工業会

〒650-0011 神戸市中央区下山手通6丁目3番28号 兵庫県中央労働センター 3階

TEL:078-361-5667（代表）/FAX:078-371-4336 担当：荒木、福田、井内



関西学院大学 日本IBM

第1回（10月）・第2回（11月）・第3回（12月）・第4回（1月）は好評いただきました。追加募集も最後の第5回（2月）のみとなりました。奮ってご応募下さい。

カリキュラム - シラバス : AI活用入門



授業名	A I 活用入門	回	講義タイトル	講義内容
担当教授	巴波 弘佳(MIWA HIROYOSHI), 西野 均(NISHINO HITOSHI)	1	講義ガイダンス	講義の目的と目標、受講方法を理解する。 AIの活用事例などに触れ、意欲的に学習できるようにする。
授業目的	AI活用に関わる技術、事例、ツール等を幅広く学び、AI活用人材として社会で活躍するための基礎的知識・スキルを活用できるようにすることを目的とする。	2	第4次産業革命・Society5.0・AIが変える社会	第4次産業革命とSociety5.0に伴う、これからのAI活用人材に必要な基礎スキルについて理解を深め、AI活用人材とはどのような人材かを理解する。
到達目標	1. 産業構造の変化や今後必要とされるスキルなど社会背景に関する知識、AI技術に関する基礎知識について説明できるようにする。 2. AIを利用したデータ解析に関する基礎知識を理解し、簡単なデータ解析ができるようになる。 3. AIを利用した簡単なアプリケーションを開発できるようにする。	3	AIを活用するビジネス	リーディングカンパニー6社(IBM, Microsoft, Google, Amazon, Apple, Facebook)や日本企業のAI技術の概要やビジネス事例を学び、AIを活用して課題を解決するとはどういうことか理解する。
授業の概要・背景	産業構造の変化や今後必要とされるスキルなど社会背景に関する知識、AI技術に関する基礎知識、AIを活用するために必要不可欠なデータサイエンスに関する基礎知識、AIを利用したアプリケーションを開発するための基礎知識を学ぶ。	4	AIを支える技術	AIを支える技術を理解し、AIを支える技術の全体像を学ぶ。
		5	AI機能とAPI①	様々なAI機能とそれを使うためのAPI(Application Programming Interface)を理解する。 自然言語処理機能/APIの概要を知り、自然言語処理機能/APIを使って何が出来るのかを理解する。
		6	AI機能とAPI②	音声認識・画像・動画解析機能/APIの概要を知り、音声認識・画像・動画解析機能/APIを使って何が出来るのかを理解する。
		7	AIアプリのシステム開発	ビジュアルプログラミング言語「Node-RED」を用いて、機能/APIを呼び出す方法を理解し、活用可能な知識とスキルを身につける。
		8	機械学習①	クラウド上のAI機能をAPIを用いて扱う以外のAIについて学ぶ。ここでは、データから傾向を分析し、将来の予測を行うAIを理解する。
		9	機械学習②	クラウド上のAI機能をAPIを用いて扱う以外のAIについて学ぶ。ここでは、データから傾向を分析し、将来の予測を行うAIを理解する。
		10	AIとデータサイエンス	AIとデータサイエンスの関係性を把握し、より深くAIを活用できるようにデータサイエンスの知識とスキルを身につける。
		11	データ分析の基礎	数学・統計知識(分散、標準偏差、相関係数、等)に触れ、情報処理系の知識を活用できるスキルを身につける。
		12	データ分析の実践的活用	回帰分析によって予測を行うAIを理解し、活用可能な知識とスキルを身につける。
		13	システム開発の理解	システムの開発の流れを疑似体験するとともに、顧客・ユーザーの要求を正しく認識し、AIを活用する際のシステム設計の知識を身につける。
		14	講義全体の振り返り	講義全体の知識・スキルの修得を確認するために、総合テストを行う。 講義全体を振り返るとともに、AI活用の最新事例に触れて、AI活用人材になるために必要な知識・スキルについて考察する。

カリキュラム - シラバス : AI活用アプリケーションデザイン入門



授業名	A I 活用アプリケーションデザイン入門	回	講義タイトル	講義内容
担当教授	巴波 弘佳(MIWA HIROYOSHI), 西野 均(NISHINO HITOSHI)	1	AI活用とは・自然言語処理技術とは	AI・機械学習・深層学習・APIとは何かを理解する。 自然言語処理技術とは何かとその仕組みを理解する。 自然言語処理技術を使って実現できることを把握する。
授業目的	AIの各機能(言語、画像、音声、等)の技術・活用事例・利用方法を学び、それらを実際のビジネス現場で活用できるようにするための基本的な知識とスキルを修得することを目的とする。	2	自然言語処理と深層学習・形態素解析系ツールの紹介・テキスト分析機能/APIの紹介①	形態素解析系ツールは、どのような機能を持ち、何を達成できるかを理解する。 テキスト分析機能/APIは、どのような機能を持ち、何を達成できるかを理解する。
到達目標	・言語、音声、画像系のAIの仕組みを理解し、説明できるようにする。 ・言語、音声、画像系API(Application Programming Interface)の利用方法を理解し、それらを用いた簡単なアプリケーションを開発できるようにする。 ・AIを活用した事例やAIシステム実装過程を理解し、ビジネスへの活用方法を提案できるようにする。	3	テキスト分析機能/API・ツールの紹介②・テキスト分析機能体験	テキスト分析機能/API・ツールは、どのような機能を持ち、何を達成できるかを理解する。 テキスト分析機能/API・ツールについて、簡単な操作方法を理解し、実現できることを把握する。 テキストマイニングとは何かを理解し、何を達成できるかを理解する。
授業の概要・背景	自然言語処理、音声認識、画像/動画解析のAI技術、クラウド上のAI機能を利用するためのAPIを学び、ビジネスにおけるAI活用の活用方法を提案するための知識とスキルを修得する。	4	テキスト分析機能/APIの紹介③	テキスト分析機能/APIは、どのような機能を持ち、何を達成できるかを理解する。
		5	質問応答機能/APIの紹介・質問応答機能体験①	質問応答機能/APIは、どのような機能を持ち、何を達成できるかを理解する。 質問応答機能/APIを使用し作成したチャットボットの長所/短所を理解する。
		6	質問応答機能体験②・機械翻訳機能/APIの紹介・自然言語処理の活用事例	質問応答機能/APIについて、簡単な操作方法を理解し、実現できることを把握する。 機械翻訳機能/APIは、どのような機能を持ち、何を達成できるかを理解する。 自然言語処理とVoC/IoTを組み合わせて実現できることを把握する。
		7	音声認識技術とは	音声認識技術とは何かとその仕組みを理解する。 音声認識技術を使って実現できることを把握する。
		8	音声認識機能/APIの紹介・音声認識機能体験①	音声認識機能/APIは、どのような機能を持ち、何を達成できるかを理解する。 音声認識機能/APIについて、簡単な操作方法を理解し、実現できることを把握する。
		9	音声認識機能体験②・音声認識機能/APIの紹介・音声合成機能/APIの紹介	音声認識機能/APIについて、簡単な操作方法を理解し、実現できることを把握する。 音声認識機能/APIは、どのような機能を持ち、何を達成できるかを理解する。 音声合成機能/APIは、どのような機能を持ち、何を達成できるかを理解する。
		10	画像解析技術とは	画像解析技術とは何かとその仕組みを理解する。 画像解析技術を使って実現できることを把握する。
		11	画像解析機能/APIの紹介・画像解析機能体験	画像解析処理に使用されている深層学習のモデルの仕組みを理解する。 画像解析機能/APIは、どのような機能を持ち、何を達成できるかを理解する。 画像解析機能/APIについて、簡単な操作方法を理解し、実現できることを把握する。
		12	画像解析機能/APIの紹介・活用事例・動画解析技術とは	画像解析機能/APIは、どのような機能を持ち、何を達成できるかを理解する。 画像解析とIoTを組み合わせて実現できることを把握する。 動画解析技術とは何かを理解する。
		13	動画解析技術の仕組み・動画解析機能/APIの紹介・活用事例	動画解析技術の仕組みを理解する。 動画解析技術を使って実現できることを把握する。 動画解析機能/APIは、どのような機能を持ち、何を達成できるかを理解する。 動画解析機能/APIについて、簡単な操作方法を理解し、実現できることを把握する。
		14	AIを活用した最新ソリューション事例・AIシステム実装過程の紹介	AIを活用した最新ソリューション事例を把握する。 AIシステム実装過程を理解する。 実際のAIシステム実装における進め方や具体的なタスクを理解する。

カリキュラム - シラバス : AI活用データサイエンス入門



授業名	A I 活用データサイエンス入門	回	講義タイトル	講義内容
担当教授	巴波 弘佳(MIWA HIROYOSHI), 西野 均(NISHINO HITOSHI)	1	データサイエンス概論	データをビジネスに活用するデータサイエンティスト、および用いられる機械学習の概要について知り、AI活用データサイエンス入門の概要を理解する。
授業目的	AIを活用するために必要不可欠なデータ解析に関する基礎知識、技術、活用事例、および問題解決フレームワークを学び、ソフトウェアを用いた実際のビジネス現場で活用できるようにするための基本的な知識とスキルを修得することを目的とする。	2	基本統計量	統計知識のうち、「基本統計量」および「正規分布」に関する知識を修得し、実際のビジネスにおいてどのようなシーンで活用されているかを理解する。
到達目標	・データ解析に関する基礎的な概念を理解し、ツールも活用して活用できるようにする。 ・問題発見・問題解決を行う際の思考法を理解し、活用できるようにする。 ・ソフトウェアを用いてデータを解析し、問題解決の思考法を用いて状況を整理することで、結論を導出できるようにする。	3	データの整理・評価	統計知識のうち、「データ」に関する知識をワークを振り返りて修得し、実際のビジネスにおいてどのようなシーンで活用されているかを理解する。
授業の概要・背景	AIを活用するために必要不可欠なデータ解析に関する基礎知識、技術、活用事例、および問題解決フレームワークを学び、ソフトウェアを用いた実際のビジネス現場で活用できるようにするための基本的な知識とスキルを修得する。さらに、サンプルデータに対してソフトウェアのR/R Studioを用いてデータを解析し、様々なフレームワークに基づいて結論を導出する演習を行う。	4	統計手法(推定と検定)	統計知識のうち、「推定と検定」に関する知識をワークを振り返りて修得し、実際のビジネスにおいてどのようなシーンで活用されているかを理解する。
		5	相関・単回帰分析	統計知識のうち、「相関」「単回帰分析」に関する知識を修得し、実際のビジネスにおいてどのようなシーンで活用されているかを理解する。
		6	重回帰分析・SVM	統計知識のうち、「重回帰」および「SVM」に関する知識を修得し、実際のビジネスにおいてどのようなシーンで活用されているかを理解する。
		7	決定木分析	統計知識のうち、「決定木分析」に関する知識を修得し、実際のビジネスにおいてどのようなシーンで活用されているかを理解する。
		8	クラスタリング	統計知識のうち、「クラスタリング」に関する知識を修得し、実際のビジネスにおいてどのようなシーンで活用されているかを理解する。
		9	主成分分析	統計知識のうち、「主成分分析」に関する知識を修得し、実際のビジネスにおいてどのようなシーンで活用されているかを理解する。 これまでの内容を復習し、データ分析についての理解を定着させる。
		10	ロジカルシンキング	「ロジカルシンキング」に関する知識を修得し、思考法の引き出しを増やす。
		11	フレームワーク	物事を体系的に整理・分析するための各種フレームワークを理解し、その活用方法を演習形式で修得する。
		12	ラテラルシンキング・システムシンキング	問題発見・問題解決のときに、新たなものの見方、考え方をするための思考法である「ラテラルシンキング」および動的な複雑性(要素のつながりや相互関係から生じる複雑性)に対応するための思考法であるシステムシンキングに関する知識を修得し、思考法の引き出しを増やす。
		13	総合演習①	仮想ビジネスケースを基に、ビジネス力を活用して仮説を構築し、データエンジニアリング・データサイエンス力を活用してデータ解析を行い、定量的な効果の見込める施策の提案につなげる。
		14	総合演習②	仮想ビジネスケースを基に、ビジネス力を活用して仮説を構築し、データエンジニアリング・データサイエンス力を活用してデータ解析を行い、定量的な効果の見込める施策の提案につなげる。

兵庫工業会Instagramのご案内

兵庫工業会ではタイムリーな情報を皆様にご案内できる様にInstagramに取り組んでおります。是非、会員の皆様のフォローを宜しくお願い申し上げます。

兵庫工業会 InstagramのQRコードをご案内いたします。

各事業の開催風景等を随時更新中です。

お問い合わせ先 兵庫工業会 事業推進部 TEL：078-361-5667 担当：石橋



会員動向

代表登録者変更

企業名	新登録者	旧登録者	変更月
川重明石エンジニアリング株式会社	代表取締役社長 腰前 昌俊	河合 昌己	2021年11月

社名変更

企業名	旧社名	変更月
株式会社H・R・C	株式会社アズマ	2021年11月

イベント情報

月日	事業名・内容	場所
2月17日(木)～18日(金)	合同委員会	有馬 古泉閣
3月10日(木)	但馬地域交流会	美岡工業(株)・湯村温泉 井づつや
3月16日(水)	2021年度 第5回理事会	アクリエひめじ
5月31日(火)	第63回 通常総会	神戸ポートピアホテル

ご入会・セミナー・講演会・研修などのお問合せ・お申込みは…



公益社団法人 兵庫工業会

本部 〒650-0011 兵庫県神戸市中央区下山手通6丁目3番28号 兵庫県中央労働センター 3階
TEL 078(361)5667 / FAX 078(371)4336
Eメールアドレス mail@hyogo-ia.or.jp
URL <http://www.hyogo-ia.or.jp>

神戸事務所 〒650-0011 兵庫県神戸市中央区下山手通6丁目3番28号 兵庫県中央労働センター 3階
TEL 078(361)5667 / FAX 078(371)4336

姫路事務所 〒670-0962 姫路市南駅前町123 じばさんびる 3階
TEL 079(223)8230 / FAX 079(223)8231